



センターニュースをお読みの皆様へ

建て替えに向けて準備工事が着々と進んでいます。8月5日（火）には地鎮祭が行われました。今後はグラウンドの工事が本格化していきますが、利用者の皆様の生活環境に音、採光等影響が起こることが考えられます。工事関係者の方々も入所利用者様の生活空間を確認しながら、進め方を慎重に考えてくださっています。

新しい建物、広い空間の居室やデイルーム等でどのように過ごしていくかを様々な視点で考え、島田の古き良き部分を残しつつ、より良い豊かな生活空間を整えていきたいと思っています。



療育局長 落合 三枝子

新病棟建設に向けて



地鎮祭を実施しました

8月5日（火）、連日酷暑が続く中、新病棟建築の地鎮祭を行いました。建築現場であるグラウンドに設営されたテントの中に、厳かな神棚が祀られました。

参加者は社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター、コンストラクションマネジメント業者の明豊ファシリティワークス株式会社、設計業者の株式会社東畑建築事務所、施工業者JVの東洋建設株式会社、株式会社オオバ工務店、総合建設業光建工業株式会社。建築の安全を祈り、理事長の鍬入れ、関係者の玉串奉納が行われました。

これから長い期間工事に入ります。工事の様子は島田療育センターホームページのブログでもお知らせいたしますので、ご覧ください。

（事務局長 森久保 真由美）



健康と長寿のお祝いを実施しました

7月16日（水）に「健康と長寿のお祝い」の式典にて、還暦・古希・喜寿を迎えた17名の利用者様をお祝いしました。還暦の方は7名、古希の方は9名、喜寿の方は1名いらっしゃいました。この日に合わせて用意された特別な装いは会場にお祝いの雰囲気を作り出し、長年当センターで共に過ごした時間を感慨深く思い起こす場となりました。



式典の様子は全病棟に配信し、島田療育センター全体で利用者様の長寿をお祝い致しました。共に時間を

過ごした職員ならではの温かく気持ちのこもったスライドショーを觀賞後、ご家族から頂いた感謝の言葉は、社会福祉事業に携わる職員として有難く、思いを新たに作る時間となりました。（療育部 清水 信夫）



二十歳のお祝いを実施しました

8月25日（月）二十歳のお祝いを開催しました。今年度二十歳を迎えられるのは、1病棟1名、3病棟2名、あわせて3名の皆さんです。入所されてから今日までの思い出をスライドで振り返ったあと、ボランティアサークル「マジックにじいろ」さんによる、お祝いのステージを楽しみました。みんなで歌ったり踊ったり、最後は南京玉すだれによるしだれ桜で華やかに締めました。式典では、名誉院長からお祝いの言葉を頂き、お祝いの花束や色紙を、みなさんしっかりと受け取

られていました。そして今回、プロのカメラマンさんが撮影に来てくださり、最後には素敵な写真を撮影していただきました。ご家族様も遠方からも駆けつけてくださり、ありがとうございました。

（療育主任 宮沢 直美）



島田療育センター

わいわい祭り 2025



9月27日（土）わいわい祭り 2025 を開催しました。今年は感染予防に配慮し、地域エリアと入所利用者のエリアの2つの会場に分けてイベントを企画しました。外来とデイケアセンターの利用者様を対象にした地域エリアには、地域の福祉事業所による物販コーナー、スヌーズレンコーナー、デイケアセンターによる「なんでも屋」とほっとステーションによる「ほっと屋さん」による作品の展示販売コーナーを設けました。同時にデイケアセンターの1階ホールには、島田療育センターを守る会様の黒ひげゲームと千本つり、ピコピコ委員会によるゲームコーナーを設け、来所された皆様楽しんでいただきました。

入所利用者様用の入所エリアには、守る会様のパチンコ・スロットに加え、リハビリ職員企画のゲームコーナーを設けました。病棟内の素敵な装飾と歓迎のムード中、わいわい祭りには欠かせない存在である

和太鼓奏者「風鼓」の皆様、今年初参加の「バイオリンクラブきらきら星」「Lady Honkerz」の皆様の素晴らしい音色で感動を呼んだコンサートが行われました。

メインイベントでは、多摩市の阿部裕行市長に挨拶をいただいた後、多摩市のご当地アイドルの「ディゼル」の皆様に登場していただきました。愛らしく、明るい歌とダンスで会場は大いに盛り上がりしました。

毎年、大勢の方々が参加する祭りとなったわいわい祭りですが、「島田療育センターを守る会」の皆様の献身的なサポートがあり、今年は50名近いボランティアの方々が来所し、環境整備・各種のゲームコーナーや病棟内イベントに貢献していただきました。その他、イベントのお手伝いをいただいた「あゆみ会」、かき氷や氷の彫刻・氷柱を提供していただいた「中央冷凍産業」、明星大学のボランティアの皆様にもお祭りを支えていただきました。加えて、多くの協賛品をいただいた各企業の皆様にもこの場を借りて感謝を申し上げます。

（準備委員 清水 信夫）



福祉事業所による物販



氷の彫刻の展示



かき氷などの提供



消防車乗車体験



ゲームコーナー



風鼓様による和太鼓演奏



Lady Honkerz様による吹奏楽演奏



きらきら星様によるバイオリン演奏



多摩市のご当地アイドル「ディゼル」の皆さんによるコンサート

ディケアセンター

夏イベントを実施しました

8月14(木)・15(金)・18(月)・19日(火)の4日間に渡って恒例の「夏イベント」を行いました。今年のテーマは「ゲームセンター」。ディケア紙幣を持って部屋に入ると職員が制作したキャラクター達がお出迎え。両替機でコインに交換し、各ブースに向かいます。

「プリクラ」コーナーは、昔のプリクラ機械、雰囲気を完全再現しポーズや表情を決めて写真を撮りました。「射的」コーナーはおもちやの銃で、ターゲットを打ち落とし商品ゲット! 「UFOキャッチャー」コーナーは釣竿をクレーンに見立て、ぬいぐるみを次々と

取りました。その他ガチャガチャや太鼓の達人もあり、ゲームセンターの雰囲気を感じながら利用者、職員ともにたくさん笑って楽しんだ4日間になりました。

(ディケアセンター 菊地 健太郎)



射的の様子



UFOキャッチャーの様子

サッカー療育体験会を実施しました

8月6日(水)・20日(水)に、島田では初めての試みとして、サッカー療育の体験会を実施しました。スタッフは作業療法士2名、社会福祉士(指導者資格保有)1名。島田のサッカー療育は、技術の向上よりも、サッカーをツールとして、スポーツを楽しむ、自己肯定感を高める、コミュニケーションスキルの向上を主目的としました。

6日は6名、20日は7名のお子さんが体験に来てくださいました。初めて会う子同士、またサッカーに

初めて触れる子もいました。私達が想像するようなサッカーとは違う形にはなりましたが、お子さん達は私達スタッフの要求することをできる範囲でトライしてくれました。また、スタッフ側も「やってみよう」と思ってもらえるような声掛け、雰囲気作りを念頭に進めました。10月から本開催として行う予定で、現在準備中です! (支援部科長 三枝 勅夫)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか?

このコーナーはネットワークしまでで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。



食事のときにじっと座っていられませんか。椅子からずり落ちたり立て膝になったり、席を立てしまうこともあります。どう対応すればいいですか?



毎日のことなので、気になりますよね。座っていられない理由はいくつか考えられます。ひとつは、姿勢を保つ体の力がまだ育っていない場合です。お腹や背中の筋肉(体幹)が弱いと姿勢が崩れやすくなります。ブランコやお散歩、雑巾がけや配膳のお手伝いは良い運動です。手押し車やお馬さんごっこもお勧めです。生活

の中で体を動かす機会を意識してみましょう。また、椅子の高さや足台を工夫し、足がしっかりつくように環境を整えることも大切です。

また、動きたい気持ち強いお子さんもいます。食事前に体を動かしたり、ごはんを運ぶなど簡単なお手伝いをすると、動きたい気持ちが満たされ、落ち着きやすくなることがあります。声かけは注意するより、「かっこよく座れてるね」とできていることを伝えるのがおすすめです。小さな成功の積み重ねが自信になります。工夫しても難しいときは専門職に相談してみてくださいね。

(作業療法士 坂本 遥菜)



多摩市社会福祉協議会主催

夏のボランティア体験2025

多摩市社会福祉協議会で主催された「夏のボランティア体験2025」事業を通じて、10名のボランティアが当センター内で活動しました。活動の内容は8月の「二十歳のお祝い」と9月の「わいわい祭り」の装飾作りを手伝っていただきました。企業の職員、学校の教員、近隣

の学校の学生が社会福祉施設に関心を持ち、活動に取り組む姿を頼もしく思うと同時に当センターの役割を伝えていく意義を深く感じた体験でした。

(療育部 清水 信夫)



ベルブプラスバンドの皆様による

サマーコンサートを実施しました

8月24日(日) ベルブプラスバンドの皆様をお迎えし、サマーコンサートを催しました。子どもたちに楽器を演奏する楽しさを伝える場として、一歩一歩積み重ね28年が経過しました。



かつての子どもたちは大人になり、音楽の楽しさを次の世代に繋いでいます。

(療育部 清水 信夫)

多摩スマイル吹奏楽団の皆様による

吹奏楽コンサートを実施しました

9月7日(日) 多摩スマイル吹奏楽団によるコンサートを行いました。毎年、必ず当センターを訪れ、応援して下さいように元気な音を響かせてくれます。演奏を聴いた職員からは「長年来ていただいていることに感謝しています。また来てください」との言葉が寄せられました。次回の演奏を楽しみにしています。



(療育部 清水 信夫)

2024年度 事業活動計算書

勘定科目	本部拠点	多摩拠点	はちおうじ拠点	合 計
サービス活動収益計(1)	22,038,370	4,149,177,724	552,242,878	4,723,458,972
サービス活動費用計(2)	26,713,142	4,170,511,311	560,459,255	4,757,683,708
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-4,674,772	-21,333,587	-8,216,377	-34,224,736
サービス活動外収益計(4)	66,819	14,780,311	1,213,408	16,060,538
サービス活動外費用計(5)	0	1,920,924	6	1,920,930
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	66,819	12,859,387	1,213,402	14,139,608
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-4,607,953	-8,474,200	-7,002,975	-20,085,128
特別収益計(8)	0	73,205,000	0	73,205,000
特別費用計(9)	0	40,382,045	0	40,382,045
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	32,822,955	0	32,822,955
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-4,607,953	24,348,755	-7,002,975	12,737,827
前期繰越活動増減差額(12)	118,832,735	72,461,113	271,671,625	462,965,473
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	114,224,782	96,809,868	264,668,650	475,703,300
基本金取崩額(14)	0	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	0	0	0	0
その他の積立金積立額(16)	0	62,000,000	0	62,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	114,224,782	34,809,868	264,668,650	413,703,300

家族向け発達支援講座

— 詳細・お申し込みはQRコードから —

講座6 思春期のより良い親子関係のために ～上手な関わり方のヒント～

日時 2025年11月21日 10:00～11:30
対象 小学校高学年～高校生の保護者
会場 永山公民館(ベルブ永山) 視聴覚室



講座7 おうちでやってみよう！ 療育あそび おとな体験会

日時 2025年11月7日 10:00～11:30
対象 就学前後のお子さんをもつご家族の方
会場 パルテノン多摩4階 会議室3・4

